

今回は、産婦人科医長の吉田隆之医師にお話を聞いてみましょう。

Q 胎児心エコー（超音波）検査について教えてください。

A 妊婦さんのお腹に超音波プローブをあてて、お腹の赤ちゃんの心臓を画像化し、心臓の異常を調べる検査です。この検査は、赤ちゃんの心臓に異常が疑われる場合に行いますが、赤ちゃんの他の部分の異常がある場合や、赤ちゃんが小さい場合にも行うことがあります。妊婦健診でもエコー検査を行います、時間が限られているため、十分に心臓の検査ができない場合もあります。そのため、詳しく検査する場合には、妊婦健診とは別に時間を設けて胎児心エコー検査を行っており、診察時間は約30分です。



心臓の異常は比較的多く、約100人に1人と言われています。心臓の異常には、生後直ちに処置をしないと急激に具合が悪くなる異常もあります。生まれてから急に具合が悪くなった場合には、慌ただしく大学病院等に搬送して治療しなければならず、赤ちゃんにとって大きな負担になります。妊娠中に心臓の異常がわかれば、生まれる前から大学病院等の専門機関に紹介し、分娩の計画や準備を進めることができます。また、妊婦さんやご家族の方が前もって心臓の異常を知ることにより、生まれてきた赤ちゃんの治療・管理をスムーズに行うことができます。そのため、胎児心エコーを行い、可能な限り妊娠中から胎児の異常を見つけることが大切であると考えます。

胎児心エコー検査は完全紹介予約制のため、紹介状及び予約が必要です。詳しくは産婦人科外来にお問合わせください。